



医学統計研究会の現況

平成 22 年度 会報

Vol.6

1. 平成 22 年度の活動と事業は以下のとおりです。

I. 事業期間

平成 22(2010)年 4 月 1 日 ～平成 23(2011)年 3 月 31 日

II. 事業の成果

(1) 新規事業

- ① 最近の情報技術を駆使した形式での医療および医薬品の研究・開発に寄与するために、2010 年 3 月 13 日に開催した特定主題セミナー「臨床評価過程におけるシミュレーションとその実際」をひきつぎ、同一主題のシンポジウムを 10 月 30 日に開催した[p.2, II (5)を参照].
- ② 「日本心血管インターベンション治療学会」からの要請を受け、論文誌へ「医学統計入門」の連載を開始し、現在、以下のように 3 編の作品を掲載している。
 - i) 杉本知之・河合統介・後藤昌司. 医学統計概論：臨床研究デザインの基礎と統計手法の基本的考え方. 日本心血管インターベンション治療学会誌(CVIT),2(3),235-243, 2010.
 - ii) 坂本 亘・後藤昌司. 医学統計概論：多変量解析とは. 日本心血管インターベンション治療学会誌(CVIT), 2(4), 295-302, 2010.
 - iii) 藤澤正樹・伊藤雅憲・後藤昌司. 医学統計概論：相関・回帰解析の過程. 日本心血管インターベンション治療学会誌(CVIT),3(1),60-68,2011.さらに、欧文誌の“Statistical Advisors”としても寄与することになった。
- ③ 医療の科学的根拠を与える臨床検査値の評価に着目した特定主題セミナー2011「臨床検査値の変動と評価」を開催した。

(2) 継続事業

- ① 特定主題セミナー2010「臨床評価におけるデータ・マネジメントの過程」も 6 回目の開催を数え、本研究会の「目玉」の事業ともいえる形式で定着しているが、平成 22 年度は、講師の方々のご都合と日程の関係で 2 日間(終日)で開催した。
- ② 自由に扱えることで適用の枠を広げている計算環境 R について特定主題シンポジウム 2010「臨床評価における計算環境 R とその周辺」を開催した。3 回目の開催であったが、R の成長とともに、その利用者も増えており、活発な意見の交換があった。
- ③ 従来 of 主題の題目を、若干、変更して、特定主題シンポジウム 2010「患者像に基づく臨床評価の過程：がん患者の治療を中心に」を開催した。
- ④ 定例シンポジウム 2010「医療で必要とされる統計的基礎知識」は 10 回目を数え、「基本

に還れ」の教えに倣い、とくに、医療と医薬品の評価における観測値の変動の分解、分散分析と共分散分析を主題にすえて開催した。

- ⑤ 医学統計学に関わる諸種の主題の研究・開発および地方における啓発活動の一環として、夏季セミナー2010（山梨）と秋季セミナー2010（長崎）を開催した：夏季セミナー2010は、山梨大学グローバル COE シンポジウムを後援する形式になったが、参加者も多く生産的であった。また、秋季セミナー2010では、前日の日本計算機統計学会スタディ・グループ「データの圧縮と復元の方法」と「統計科学におけるシミュレーションの過程」の連携による活動進捗報告会と併せて、大変に活発で有意義な意見の交換があり、印象に残るセミナーになった。
- ⑥ 国際共同治験を主題にした研究集会としては特定主題シンポジウム 2009「国際共同治験の統計的諸問題」、特定主題シンポジウム 2010「国際共同治験における地域差の可能性を考慮した投与量の決定」を開催してきた。そこでの議論と課題を踏まえて平成 22 年度には、特定主題シンポジウム 2011「国際共同治験における事例研究と統計的諸法」を開催した。3年にわたり、参加者が増加し続けており、本主題についての意識と関心の高さを示している。

(3) 共同開発事業：e-learning 型医学統計学習システム (PSL: Productive Self-Learning System of Biostatistics) 『医学統計学習塾』(関連・回帰解析の過程) の共同開発を継続している。

(4) 技術指導事業

- ① 会員から要請された臨床試験に関わる二三の実際業務について相談・指導を行った。とくに、(株)ソリューションラボと共同で大分大学医学部からの統計的データ解析を実践・指導した。
- ② 京都大学・大学院医学研究科において集中講義「医学統計学の標榜」をリレー講義の形式で実施した。

(5) 連携事業

- ① 日本計算機統計学会スタディ・グループ「データの圧縮と復元の方法」(代表：藤澤正樹)は、これまでの実践と成果を日本計算機統計学会第 24 回シンポジウムで提示した。この後を受けて 2010 年 6 月よりスタディ・グループ「統計科学におけるシミュレーションの過程」(代表：伊藤雅憲)が活動を開始した。二三の方法論の研究・開発を継続している。
- ② 大分統計談話会の第 42 回大会と第 43 回大会の開催を支援し、共催した。

III. 事業の実施状況

1. 特定非営利活動に係る事業

(1) 特定主題シンポジウム 2010「臨床評価過程における計算環境 R とその周辺：S-PLUS による妥当性確認」

(日時) 2010 年 6 月 12 日(土)。

(会場) (株)数理システム・セミナールーム。

(参加者) 20 名 (有料参加者 13 名, 支援参加者 7 名)。

(2) 特定主題セミナー2010「臨床評価におけるデータ・マネジメントの過程」

(日時) 2010 年 8 月 5 日(木), 2010 年 8 月 6 日(金)。

- (会場) ちよだプラットフォーム 会議室.
(参加者) 18名 (有料参加者 10名, 支援参加者 8名).
- (3)特定主題シンポジウム 2010「患者像に基づく臨床評価の過程：がん患者の治療を中心に」
(日時) 2010年9月25日(土).
(会場) エーザイ(株)別館会議室.
(参加者) 20名 (有料参加者 5名, 支援参加者 15名).
- (4)特定主題シンポジウム 2010「臨床評価過程におけるシミュレーションとその実際」
(日時) 2010年10月30日(土).
(会場) ファイザー(株) 会議室.
(参加者) 17名 (有料参加者 11名, 支援参加者 6名).
- (5)定例シンポジウム 2010「医療で必要とされる統計的基礎知識」
(日時) 2010年11月20日(土).
(会場) エーザイ(株) 別館会議室.
(参加者) 37名 (有料参加者 19名, 支援参加者 18名).
- (6)特定主題シンポジウム 2011「国際共同治験における事例研究と統計的諸法」
(日時) 2011年1月29日(土).
(会場) アステラス製薬(株) 会議室 (日本橋).
(参加者) 51名 (有料参加者 38名, 支援参加者 13名).
- (7)特定主題セミナー2011「臨床検査値の変動と評価」
(日時) 2011年3月12日(土).
(会場) 大阪大学(豊中キャンパス)基礎工研究科 J棟 617号室.
(参加者) 20名 (有料参加者 6名, 支援参加者 14名).
- (8)定例会[大阪]
- ①O 2010-5-29
(日時) 2010年5月29日(土). 13:15~17:15.
(会場) 大阪大学(豊中キャンパス)基礎工学研究科 G棟 507号室.
(参加者) 24名.
 - ②O 2010-7-2
夏季セミナー2010 (山梨) [山梨大学グローバル COE シンポジウム 2010 を後援]
 - ③O 2010-7-24
サマー・フォーラム 2010 および日本計算機統計学会・スタディ・グループ「統計科学におけるシミュレーションの過程」と共催.
 - ④O 2010-9-4
秋季セミナー2010 (長崎) と共催.
 - ⑤O 2010-12-18
(日時) 2010年12月18日(土). 13:30~17:00.
(会場) 大阪大学(豊中キャンパス)基礎工学研究科 J棟 617号室.
(参加者) 11名.
 - ⑥O 2011-1-22
(日時) 2011年1月22日(土). 13:30~17:00.
(会場) 大阪大学(豊中キャンパス)基礎工学研究科 J棟 617号室.
(参加者) 15名.

(9)定例研究会[東京]

①T 2010-4-15

(日時) 2010年4月15日(木). 13:30~17:00.

(会場) エーザイ(株) 会議室.

(参加者) 10名.

②T 2010-5-14

(日時) 2010年5月14日(金). 13:30~17:00.

(会場) ノバルティスファーマ 会議室.

(参加者) 5名.

③T 2010-6-11

(日時) 2010年6月11日(金). 13:30~17:00.

(会場) アスピオファーマ(株) 会議室.

(参加者) 6名.

④T 2010-7-2

夏季セミナー(山梨)と共催. [山梨大学グローバル COE シンポジウム 2010 を後援]

⑤T 2010-7-24

サマー・フォーラム 2010 および日本計算機統計学会・スタディ・グループ「統計科学におけるシミュレーションの過程」と共催.

⑥T 2010-9-4

秋季セミナー(長崎)と共催.

⑦T 2010-10-29

(日時) 2010年10月29日(金). 13:30~17:00.

(会場) ファイザー(株) 会議室.

(参加者) 12名.

⑧T 2010-11-19

(日時) 2010年11月19日(金). 13:30~17:00.

(会場) エーザイ(株) 別館会議室.

(参加者) 12名.

⑨T 2010-12-9

(日時) 2010年12月9日(木). 14:00~17:30.

(会場) ちよだプラットフォーム 会議室.

(参加者) 9名.

⑩T 2011-1-28

(日時) 2011年1月28日(金). 13:30~17:30.

(会場) ノバルティスファーマ(株) 会議室.

(参加者) 12名.

⑪T 2011-2-24

(日時) 2011年2月24日(木). 13:30 ~ 17:30.

(会場) キャンパス・イノベーションセンター.

(参加者) 7名.

⑫T 2011-3-17: 東北地方太平洋沖地震のため, 急拠, 中止した.

(10)スプリング・フォーラム 2010

(日時) 2010年4月3日(土).

(会場) 大阪大学(豊中キャンパス) 基礎工学研究科 G棟 507号室.

(参加者) 48名.

(11)サマー・フォーラム 2010

日本計算機統計学会スタディ・グループ「統計科学におけるシミュレーションの過程」

(日時) 2010年7月24日(土).

(会場) 茨木市クリエイトセンター[会議室].

(参加者) 32名.

(付記) 定例会(大阪)O 2010-7-24・定例研究会(東京)T 2010-7-24 と共催.

(12) ウィンター・フォーラム 2010

(日時) 2010年12月4日(土).

(会場) 大阪大学(豊中キャンパス) 基礎工学研究科 J棟 102号室.

(参加者) 37名.

(13) 夏季セミナー2010

(日時) 2010年7月2日(金). 10:00~17:00.

(会場) 山梨大学 工学部 A2-21号館.

(参加者) 53名.

(付記) 定例会(大阪)O 2010-7-2・定例研究会(東京)T 2010-7-2 と共催.

(14) 秋季セミナー2010

(日時) 2010年9月4日(土). 9:30~17:00.

(会場) 長崎大学医学部 良順会館 専斉ホール.

(参加者) 27名.

(付記) 定例会(大阪)O 2010-9-4・定例研究会(東京)T 2010-9-12 と共催.

2. その他の事業

なし.

IV. 総会の開催状況

1. 通常総会

(日時) 2010年5月29日(土). 10:30~12:00.

(会場) 大阪大学(豊中キャンパス)基礎工学研究科 G棟 507号室.

(会員総数) 61名(正会員のみ).

(出席者数) 44名(うち委任状出席者:29名).

(内容) 第1号議案:平成21年度事業報告.

審議の結果, 全員一致で可決承認.

第2号議案:平成21年度収支報告[財産目録・貸借対照表を含む].

審議の結果, 全員一致で可決承認.

第3号議案:平成22年度事業計画.

審議の結果, 全員一致で可決承認.

第4号議案:平成22年度収支予算.

審議の結果, 全員一致で可決承認.

第5号議案:その他.

審議の結果, 全員一致で可決承認.

V. 理事会その他の役員会の開催状況

1. 第1回理事会

(日時) 2010年4月3日(土). 11:00~12:15 .

(会場) 大阪大学(豊中キャンパス) 基礎工学研究科 G棟507号室.

(理事総数) 24名.

(出席者数) 24名[うち委任状出席者16名](他に監事1名).

(内容) 第1号議案:平成21年度事業報告(案).

審議の結果, 全員一致で可決承認.

第2号議案:平成21年度収支報告(案).

審議の結果, 全員一致で可決承認.

第3号議案:理事について.

—平成22年度:名簿の確認.

—理事の役割分担.

審議の結果, 全員一致で可決承認.

第4号議案:会員動向[平成22年3月13日現在].

審議の結果, 全員一致で可決承認.

第5号議案:平成22年度事業計画(案).

—会員の増強.

審議の結果, 全員一致で可決承認.

2. 第2回理事会

(日時) 2010年7月24日(土). 11:55~12:15 .

(会場) 茨木市クリエイトセンター 会議室.

(理事総数) 24名.

(出席者数) 20名[うち委任状出席者12名].

(内容) 第1号議案:事業の遂行[中間報告と通常総会の議事録].

第2号議案:事業の計画[平成22年度の後半に向けて].

第3号議案:会員増強の進捗.

第4号議案:5周年記念事業について.

第5号議案:共同開発事業(「医学統計学習塾」について)など.

いずれの議案も審議の結果, 全員一致で可決承認.

3. 第3回理事会

(日時) 2011年3月12日(土). 16:30~17:15.

(会場) 大阪大学(豊中キャンパス) 基礎工学研究科 J棟617号室.

(理事総数) 24名.

(出席者数) 20名[うち委任状出席者:15名](他に監事1名).

(内容) 第1号議案:平成22年度事業報告(案).

第2号議案:平成22年度収支報告(案).

第3号議案:理事の変更について[平成22-23年度理事].

—平成23年度:名簿の確認.

－理事の役割分担。

第4号議案：会員動向 [平成23年3月12日現在].

第5号議案：平成23年度事業計画(案).

2. 平成22年度の収支計算書の概要を下表に記しています。詳細は大阪府知事宛へ提出する資料（「閲覧」可）に記載しています。

・収入の部	単位(円)	・支出の部	単位(円)
内訳： 入会金・会費収入	2,900,000	内訳： 事業費	3,229,911
事業収入	1,755,306	管理費	1,821,612
利息収入	1,732		
技術指導料	210,000	当年度支出合計	5,051,523
原稿料	85,000		
当年度収入合計	4,952,038	・当年度収支差額	-99,485
前年度繰越金額(設立時資金有高)	4,264,933	・次年度繰越収支差額	4,165,448

平成22年度の活動および本資料の内容については、2011年4月19日に正法地孝雄監事と前田博監事の監査を受け、承認されました [また、田端一喜公認会計士と元垣内広毅公認会計士のご指導(監査)も受けました].

VI. 事業の計画

平成23年度[2011年4月1日～2012年3月31日]の事業も以下のように計画し、進行中です[敬称略] (*は連携支援事業を指します).

4月

4月28日(木) 定例研究会[東京]T 2011-4-28 (会場)ファイザー(株) 会議室

5月

*5月7(土)-8日(日) 日本計算機統計学会第25回大会 (会場)函館市亀田福祉センター
5月18日(木) 定例研究会[東京]T 2011-5-18 (会場)エーザイ(株) 別館会議室
5月28日(土) 平成23年度第1回通常総会/定例会[大阪]O 2011-5-28
(会場)大阪大学(豊中キャンパス)
基礎工学研究科J棟617号室

6月

6月9日(木) 定例研究会[東京]T 2011-6-9 (会場)キャンパス・イノベーションセンター
6月10日(金) 定例主題セミナー2011
「臨床評価におけるデータ・マネジメントの過程」：実践活動報告会
(会場)キャンパス・イノベーションセンター
(組織者)前田博・藤澤正樹.

7月

7月23日(土) サマー・フォーラム2011/平成23年度第2回理事会
[定例会[大阪]O 2011-7-23・定例研究会[東京]T 2011-7-23と共催]

8月

8月6日(土) 夏季セミナー2011
[定例会[大阪]O 2011-8-6・定例研究会[東京]T 2011-8と共催]
(会場) 大分大学
(世話人) 越智義道・志賀 攻

9月

9月3日(土) 秋季セミナー2011
[定例会[大阪]O 2011-9-3・定例研究会[東京]T 2011-9-3と共催]
(会場) 鹿児島県民交流センター
(世話人) 古賀 正・勘場 貢・藤崎恒晏

9月17日(土) 特定主題シンポジウム2011「安全性の評価：有害事象の因果関係を質す」
(会場) 未定
(組織者) 坂本 亘・下川敏雄・越智義道

10月

*10月13(木)-14日(金) 大分統計談話会・第44回大会 (会場) 富士通大分システムラボラトリ
10月28日(金) 定例研究会[東京]T 2010-10-28 (会場) ファイザー(株) 会議室
10月29日(土) 定例シンポジウム2011「医療で必要とされる統計的基礎知識」
(会場) ファイザー(株) 会議室
(組織者) 河合紀介・富金原 悟

11月

日時未定[2日間] 定例主題セミナー2011
「臨床評価におけるデータ・マネージメントの過程」
(会場) 未定

*11月10(木)-12日(土) 日本計算機統計学会第25回シンポジウム
(会場) 釜山

11月18日(金) 定例研究会[東京]T 2011-11-18 (会場) エーザイ(株)
11月19日(土) 特定主題シンポジウム2011「個の医療に対する最新の話題」
(会場) エーザイ(株)
(組織者) 杉本知之・高瀬貴夫・松原義弘

12月

12月3日(土) ウィンター・フォーラム2011/平成23年度第2回通常総会
(会場) 大阪大学(豊中キャンパス)
基礎工学研究科

日時未定 定例会[大阪] O 2011-12 (会場) 大阪大学(豊中キャンパス)
基礎工学研究科

日時未定 定例研究会[東京] T 2011-12 (会場) 未定

2012年1月

日時未定 定例会[大阪]O 2012-1 (会場) 大阪大学(豊中キャンパス)
1月27日(金) 定例研究会[東京] T 2012-1-27 (会場) 未定
1月28日(土) 特定主題シンポジウム2012「初期臨床開発の意思決定」
(会場) アステラス製薬(株)
(組織者) 伊藤雅憲・藤澤正樹・魚井 徹

2月

*2月16-17日
日時未定

大分統計談話会・第45回大会
定例研究会[東京] T 2012-2

(会場) 富士通大分システムラボラトリ
(会場) 未定

3月

3月11日(土)

特定主題セミナー2012「統計的経験則」／平成23年度第3回理事会
(会場) 大阪大学(豊中キャンパス)
基礎工学研究科

日時未定

定例研究会[東京] T 2012-3

(会場) 未定

(※1)会員の方々には、ご住所・アドレスなどの変更の場合にはできるだけ速やかに事務局のほうにご連絡
いただくと幸いです。

(※2)会員の方で、平成22年度および平成23年度の会費未納の方は、できるだけ速やかにお納めいただ
くと幸いです。

(※3)平成22年度事業に記しています諸種のシンポジウムとセミナーの資料を会員の方へ1部3,000円(送
料込み)で頒布いたしております。

—特定主題セミナー2011『臨床検査値の変動と評価』

—特定主題シンポジウム2011『国際共同治験における事例研究と統計的諸法』

—定例シンポジウム2010『医療で必要とされる統計的基礎知識』

—特定主題シンポジウム2010『臨床評価過程におけるシミュレーションとその実際』

—特定主題シンポジウム2010『患者像に基づく臨床評価の過程：がん患者の治療を中心に』

—特定主題シンポジウム2010『臨床評価過程における計算環境Rとその周辺：S-PLUSに』

また、過去のシンポジウムやセミナーの資料についても、残部は僅かですが同様に頒布いたしておりま
す。事務局の方へお申し込みいただくと幸いです。

編集・発行：非営利活動法人 医学統計研究会

〒560-0085 大阪府豊中市上新田2-22-10-A411

Tel&Fax:06-6835-8790, e-mail:info@bra.or.jp

URL:http://www.bra.or.jp/